

関東地区会 開催



令和元年11月29日、談露館(甲府市)において、関東地区会(代表幹事：井上清美／(株)ブリリアント 代表取締役)例会を開催した。参加者は44名。

井上代表幹事の開会挨拶に続いて、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア産業戦略企画官 和泉憲明氏から、クラウド化の加速と技術動向、

「DX推進指標」の策定とその狙いなどデジタルトランスフォーメーションの推進と政策展開に関する経済産業省の政策について解説があった。

続いて、JISA 小脇一朗副会長・専務理事が、「DX の実現のためには、『人材』『技術』『経営』の『三位一体の革新』が重要で、特に『人材』に注力する」と今年度の JISA の活動方針と重点取組事項について説明。また、活動成果の刊行、開催予定の研修やシンポジウム、中小・地域における飛躍のための基盤づくり、グローバル展開、社会課題解決への取組など JISA 事業のトピックスについても紹介した。

休憩を挟んで、山梨大学学長補佐でワイン科学研究センター教授の 柳田藤寿氏による講演

「日本ワインの現状とワインの商品開発」が行われた。ワインの開発によって、大きな地域貢献をしている柳田教授は、奈良時代に葡萄を植えたことから始まる甲州ワインの歴史、ワインの製法のほか海洋酵母の研究やそれを利用し



たワインの醸造、甲府開府500年におけるスパークリングワインなど、幅広く行っている研究開発について解説した。

長崎幸太郎山梨県知事と大柴邦彦山梨県議会議長にもご臨席いただいた講演後の懇親会では、柳田教授が料理に合わせて選定した甲州ワインが振る舞われ、参加者はその魅力を堪能した。



本年8月に「ワイン県宣言」をした長崎山梨県知事

(赤尾)